

はじめに

これまで公衆衛生の重要性やおもしろさを解説した多くの本が出版されてきています。しかし、私にはこれらの本が学生の皆さんには難しすぎるように感じています。少なくとも、学生時代の初学者のころの私には、たいへん難解でした。

そこでこの本では、公衆衛生のエッセンス、特に重要でおもしろい部分を抽出して、公衆衛生全体を一からわかりやすく解説しました。『The 公衆衛生』という感じの成書に手を伸ばす前に、ぜひ一度この本を手にとってみてください。2時間程度で読めるように全体をまとめました。本書を読んで、公衆衛生の背景や概略をつかむことができれば、これからの公衆衛生の学習における理解がぐっと深まるはずです。

本書では公衆衛生全体を理解するために、「序章」を含め全7章を用意しました。「序章」では、公衆衛生を学ぼうえで最も重要である医学と行政の関係について学びます。これを理解することで、現在も行われている新型コロナウイルス感染症対策を深く理解することができますようになります。「第1章」から「第4章」は国全体が健康であるために必要な対策について学びます。「第1章」では、そもそも健康とは何か、について学び、行政が定めた健康の目標について学びます。「第2章」では、国全体が健康であるために、特に支援が必要である人たちは誰か、という視点で必要な対策について学びます。加えて、必要な対策を行政が行うことと根拠となる法律はどのような関係にあるの

か学びます。「第3章」は第2章の内容を各論として詳細に記載しました。「第4章」は第2章とは異なり、すべての国民を対象として健康を守る、という視点で必要な対策について学びます。「第5章」では国として合理的な意思決定を行うために最も重要となる衛生統計について学びます。「第6章」では、目の前で起こっている事象を正しく評価するための必須知識である研究・疫学について学びます。

今回、各章に実際の国家試験の例題をつけました。皆さんには、例題をただ解くのではなく、「この問題では、単に知識を問われているのではなく、このような背景的な知識が問われているのか」ということを考えていただきたいと思っています。

ぜひ多くの学生の皆さんが、本書を読んで、公衆衛生ってこういう学問なんだ、公衆衛生っておもしろい、そう思ってもらえると、うれしく思います。

2021年2月

平井康仁